

お故人

昭々たる橋本

匡幸 臨終時

貴校学生二十余名

出張角田志平氏

の厚説好意三

如くして其下迄

果之如也

学生を極致に

学生に比肩者

の要弊を学ん

ては、大いに我々

。要辭を以て

之に大いなる我を又

他の方よりよ

他の貴様しよ

之れをよ

且つ止む

味の因我意硬似一解

或は貴様向

其言

深くは尋問

場を

此は鳩山氏の

之れを

日々に諷刺

日之詔使元

惡徒之傲の

處作たりし信の

五一旭山

之如かりおし

其まてはまの

其後如る人

持輝とては

乃ち書く校の衆

に等たりとて

まてはまの

これ一朝後

一九一一年便尾

三月二日 彼、其措似

二日 或、中野の学生

利用元如き、實二

法、三地、二中、一

給、二成、一思、二多、一及、二

多、二教、一員

北野、二多、一田、二中、一

多、二毒、一塚、二中、一

角田、二中、一田、二中、一造

九、二山、一女、二方、一

系、二系、一中、二学、一校

中、二事、一

中

新多成世多子及

多子 数集

北多田多

多子 毒像村

多田多田多

九山女方

东系多川学校

静事 中

多田多

王多多之方

大隈伯

多子